

設備更新をリニア建設の犠牲にしないこと！

3月16日、名古屋地本は2月17日名古屋車両区の洗浄機火災について業務委員会を開催しました。

火災は洗浄機のみで人と車両等への被害はなかった事は幸いでしたが、原因不明については早急の解明と安全対策の実施を求めました。

【会社回答】

1. 出火の原因は何であったのか明らかにすること。

回答：原因については消防署の検証結果の回答待ちであり、現時点では回答できない。

2. 現場での火災発生時の連絡、消火等の対応はどの様になっていたか明らかにすること。

回答：構内運転士が白煙を発見し、その後、管理者が連絡を受け消防、指令に連絡すると共に初期消火を実施した。

3. 今後の対策と対応について明らかにすること。

回答：ハード対策は消防署の検証結果を確認し実施する。2月23日他の車両区（大垣、神領、美濃太田）に設置している車両洗浄装置に異常がないことを確認している。

【主なやり取り】

組合：今回の事態は幸いにも小さな火災で人がなく列車の運行にも支障が出なかったことは良かった。近隣に煙などの被害はなかったのか。現場の写真とか図面はないのか。

会社：付近の住宅地はなにも問題なかった。写真、図面の用意はしていない。

組合：写真・図面があると説明を受けても分かりやすい、今後は用意する事。消防署の回答はいつになるのか。

会社：消防署の事なので分らない、当社も再現試験をしている。

組合：再現試験とはなにか。

会社：原因がなにか調べているが特定できない。

組合：燃えた物は何か。

会社：凍結防止ヒーターとカバー付近が損傷が激しい。

組合：他の車両区の設定は問題ないのか。

会社：同じ物を使っているのは神領であるが問題は発生していない。

組合：メーカーとの関係はどうなっているのか。

会社：ヒーターは後付だがそれが原因どうかは分からない。当面、ヒーターは使わない。

組合：前日に業者が点検を行っているが何を点検したのか。

会社：状態と機能点検を行った。

組合：洗浄機の設置時期はいつか。

会社：平成16年である。

組合：設備の経年による劣化ではないのか。

会社：原因は特定出来ていないので分からない。

組合：原因が分からなければ対策がたてられない。被害額はどれくらいか。

会社：それほど大きな損失ではない。

組合：現在は洗浄機はどうなっているのか。

会社：電源を落として使用していない。

組合：洗浄機はの利用頻度はどれ位だったのか。

会社：1日5～6本あった。

組合：現在は手洗いで行っているのか。

会社：CMCが手洗いで行っている。

組合：CMCの作業内容が変わっているが契約はしているのか。

会社：その様に行っています。

組合：洗浄機の性能がどの様なものであったの分からないが、10年以上も使用していたことから機能低下によるものとも考えられる。設備更新をリニア建設犠牲にしないこと。

以 上